



平成30年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月15日

上場会社名 黒谷株式会社

上場取引所 東

コード番号 3168 URL <http://www.kurotani.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒谷 純久

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 井上 亮一

TEL 0766-84-0001

四半期報告書提出予定日 平成30年1月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第1四半期の連結業績(平成29年9月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|------|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年8月期第1四半期 | 14,332 | 30.5 | 682 | 88.7 | 678 | | 422 | |
| 29年8月期第1四半期 | 10,982 | 5.9 | 361 | | 24 | | 12 | |

(注) 包括利益 30年8月期第1四半期 426百万円 (481.9%) 29年8月期第1四半期 73百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年8月期第1四半期 | 58.93 | |
| 29年8月期第1四半期 | 1.79 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年8月期第1四半期 | 18,719 | 8,094 | 43.2 |
| 29年8月期 | 17,311 | 7,739 | 44.7 |

(参考) 自己資本 30年8月期第1四半期 8,094百万円 29年8月期 7,739百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年8月期 | | 5.00 | | 10.00 | 15.00 |
| 30年8月期 | | | | | |
| 30年8月期(予想) | | 15.00 | | 7.50 | |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は、本日開示のとおり平成30年3月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行います。平成30年8月期(予想)の第2四半期末配当金については分割前の株式に対するもの、期末配当金については分割後の株式に対するものであります。

(注) 平成30年8月期(予想)については、平成30年3月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行う影響を考慮しております。1株当たりの予想期末配当金及び通期配当金額においては実質的な変更はありません。

3. 平成30年8月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|------|-------|-----|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 27,172 | 7.0 | 983 | 27.7 | 962 | 0.6 | 603 | 5.6 | 84.25 |
| 通期 | 54,034 | 2.2 | 1,575 | 25.0 | 1,513 | 9.8 | 955 | 7.9 | 66.66 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成30年8月期通期の1株当たり当期純利益については、平成30年3月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行う影響を考慮しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年8月期1Q | 7,168,600 株 | 29年8月期 | 7,168,600 株 |
| 期末自己株式数 | 30年8月期1Q | 144 株 | 29年8月期 | 144 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 30年8月期1Q | 7,168,478 株 | 29年8月期1Q | 7,168,492 株 |

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想の前提条件その他に関する事項については、[添付資料] 2ページ、「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

(注2) 当社は、平成30年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行います。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して平成30年8月期の1株当たり当期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 4 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 4 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (セグメント情報等) | 6 |
| (重要な後発事象) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済が雇用環境や個人消費を中心に堅調に推移。また欧州経済も景気回復基調となり、我が国経済も雇用環境や企業収益が改善したことで先進国経済は良好に推移いたしました。加えて、中国経済は不動産関連で規制強化の動きからやや減速感はみられたものの、新興国経済全体では、先進国経済に引っ張られる形で底堅く推移したことにより世界経済全体では、順調に推移いたしました。

このような良好な外部環境もあり、販売数量は製錬会社の炉修工事の影響からやや減少したものの、当社グループの主力取扱商品である銅の価格が、地政学リスク、中国経済への不透明感や米欧の政局不安から不安定化する局面をこなしながらも想定以上に高止まりしたことから、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高143億32百万円（前年同四半期比30.5%増）、営業利益6億82百万円（同88.7%増）、経常利益6億78百万円（前年同四半期は経常利益24百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億22百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益12百万円）となりました。セグメントの業績は次のとおりであります。

(非鉄金属事業)

非鉄金属事業の主力取扱商品である銅の価格が、9月は軟調な動きとなったものの、10月以降世界経済への安心感から上昇したため、スクラップを中心に販売数量はやや減少したものの、当第1四半期連結累計期間の売上高は142億13百万円（前年同四半期比30.9%増）となりました。

(美術工芸事業)

美術工芸事業は、引き続き仏像、仏具の金製品及びキャラクター製品等の需要が底堅く推移したものの、銅製品関連の需要減少の影響から、当第1四半期連結累計期間の売上高は1億19百万円（前年同四半期比6.7%減）と前年同四半期比8百万円の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は157億16百万円となりました。主な流動資産は売上債権66億99百万円、たな卸資産47億88百万円であります。また、固定資産は30億2百万円となりました。主な固定資産は有形固定資産22億58百万円であります。この結果、総資産は、187億19百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は83億91百万円となりました。主な流動負債は短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金の合計63億66百万円、仕入債務12億94百万円であります。また、固定負債は22億33百万円となりました。主な固定負債は長期借入金21億39百万円であります。この結果、総負債は、106億24百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は80億94百万円となりました。この結果、自己資本比率は43.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年10月13日に公表いたしました数値を修正いたしました。なお、詳細につきましては、本日（平成30年1月15日）公表の「業績予想・配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年8月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,148,294 | 2,299,322 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,288,874 | 5,806,590 |
| 電子記録債権 | 918,450 | 892,688 |
| 商品及び製品 | 952,072 | 764,375 |
| 仕掛品 | 128,590 | 159,095 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,242,721 | 3,865,189 |
| その他 | 1,651,187 | 1,929,513 |
| 流動資産合計 | 14,330,192 | 15,716,775 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 1,521,121 | 1,521,121 |
| その他(純額) | 725,860 | 737,719 |
| 有形固定資産合計 | 2,246,982 | 2,258,840 |
| 無形固定資産 | 13,219 | 12,335 |
| 投資その他の資産 | 721,354 | 731,079 |
| 固定資産合計 | 2,981,555 | 3,002,255 |
| 資産合計 | 17,311,748 | 18,719,031 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,565,872 | 1,294,354 |
| 短期借入金 | 3,819,830 | 5,238,575 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,103,701 | 1,128,402 |
| 未払法人税等 | 579,777 | 264,988 |
| 引当金 | 56,741 | 84,979 |
| その他 | 374,434 | 380,293 |
| 流動負債合計 | 7,500,356 | 8,391,592 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,978,952 | 2,139,456 |
| 退職給付に係る負債 | 87,186 | 88,639 |
| 繰延税金負債 | 6,088 | 4,964 |
| 固定負債合計 | 2,072,226 | 2,233,060 |
| 負債合計 | 9,572,582 | 10,624,652 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| 資本剰余金 | 685,855 | 685,855 |
| 利益剰余金 | 5,841,245 | 6,192,015 |
| 自己株式 | △75 | △75 |
| 株主資本合計 | 7,527,024 | 7,877,794 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 143,362 | 141,559 |
| 為替換算調整勘定 | 68,778 | 75,024 |
| その他の包括利益累計額合計 | 212,140 | 216,584 |
| 純資産合計 | 7,739,165 | 8,094,378 |
| 負債純資産合計 | 17,311,748 | 18,719,031 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 10,982,267 | 14,332,979 |
| 売上原価 | 10,334,580 | 13,336,619 |
| 売上総利益 | 647,686 | 996,360 |
| 販売費及び一般管理費 | 285,909 | 313,568 |
| 営業利益 | 361,776 | 682,792 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 44 | 197 |
| デリバティブ運用益 | — | 248 |
| 為替差益 | — | 1,448 |
| 受取保険金 | 3 | 1,722 |
| 助成金収入 | 982 | 432 |
| 違約金収入 | — | 4,557 |
| 持分法による投資利益 | — | 5,788 |
| その他 | 782 | 674 |
| 営業外収益合計 | 1,812 | 15,069 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 16,292 | 19,307 |
| デリバティブ運用損 | 223,757 | — |
| 為替差損 | 95,364 | — |
| 持分法による投資損失 | 2,073 | — |
| その他 | 2,037 | 342 |
| 営業外費用合計 | 339,525 | 19,650 |
| 経常利益 | 24,063 | 678,211 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 380 | — |
| 特別損失合計 | 380 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 23,683 | 678,211 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 8,377 | 252,614 |
| 法人税等調整額 | 2,454 | 3,142 |
| 法人税等合計 | 10,831 | 255,757 |
| 四半期純利益 | 12,852 | 422,453 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 12,852 | 422,453 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 12,852 | 422,453 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 65,019 | △1,802 |
| 為替換算調整勘定 | △3,493 | 1,525 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △1,017 | 4,720 |
| その他の包括利益合計 | 60,508 | 4,443 |
| 四半期包括利益 | 73,361 | 426,897 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 73,361 | 426,897 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年9月1日至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 合計(注) |
|-------------------|------------|---------|------------|-----|------------|
| | 非鉄金属 | 美術工芸 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,854,132 | 128,134 | 10,982,267 | — | 10,982,267 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 53 | 53 | △53 | — |
| 計 | 10,854,132 | 128,187 | 10,982,320 | △53 | 10,982,267 |
| セグメント利益 | 342,972 | 18,804 | 361,776 | — | 361,776 |

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年9月1日至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 合計(注) |
|-------------------|------------|---------|------------|------|------------|
| | 非鉄金属 | 美術工芸 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 14,213,443 | 119,536 | 14,332,979 | — | 14,332,979 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 708 | 1 | 709 | △709 | — |
| 計 | 14,214,151 | 119,538 | 14,333,689 | △709 | 14,332,979 |
| セグメント利益 | 660,245 | 22,546 | 682,792 | — | 682,792 |

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成30年1月15日開催の取締役会において、株式分割を行うことを決議いたしました。

I 株式分割の目的

株式分割を実施し、投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整えるとともに、投資家層の拡大及び流動性の向上を図ることを目的とするものです。

今回の株式分割の実施により、投資単位は実質的に現状の2分の1となります。

II 株式分割の概要

1. 分割の方法

平成30年2月28日(水)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する当社普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたします。

2. 分割により増加する株式数

- | | | |
|---------------------|---|-------------------|
| ① 株式分割前の発行済株式総数 | : | 7,168,600株 |
| ② 今回の株式分割により増加する株式数 | : | 7,168,600株 |
| ③ 株式分割後の発行済株式総数 | : | 14,337,200株 |
| ④ 株式分割後の発行可能株式総数 | : | 28,000,000株(変更なし) |

3. 分割の日程

| | |
|--------|---------------|
| 基準日公告日 | 平成30年2月13日(火) |
| 基準日 | 平成30年2月28日(水) |
| 効力発生日 | 平成30年3月1日(木) |

4. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日) |
|---------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 90銭 | 29円47銭 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、いずれの期間も潜在株式が存在しないため記載しておりません。